



元気にシュート＆ゴール！

1月20日、総合公園で浦和レッズハートフルクラブサッカー教室が開催され、子どもたちの大きな声がグラウンドに響き渡りました。

市内の児童約80人が、浦和レッズハートフルクラブのコーチ6人からキックやパスの技術を学び、目を輝かせながらミニゲームを行っていました。

この教室は「サッカーの楽しみを知る」をコンセプトに、誰でもサッカーを楽しめるよう工夫され、毎年開催されています。



タレントの村田綾さんが地域活動を体験！

シニアの地域デビューを後押しするため結成された女子グループ「ちいきデビューひっぱりガールズ」のリーダーでタレントの村田綾さんが、市内NPO法人で地域活動を体験しました。

村田さんが体験先を選んだのは、障がい児の日常を支える放課後等デイサービス施設「こども支援センターいろは」で、スタッフの一員として子どもたちとけん玉遊びやクレープ作りを行いました。

3月4日(日)に市役所庁舎ホールで開催予定の『地域デビューチャレンジフェスティバル』では、村田さんがこの日の体験をもとに地域活動の楽しさを語るとともに、体験の様子を撮影した“地域活動体験ムービー”を上映します。



トマト形のナンバープレート交付式！

1月4日、市役所庁舎ホールで、ご当地ナンバープレートの交付セレモニーを行いました。応募作品72点のデザインの中から採用されたナンバープレートの披露や、デザイン作者の小松まゆさん(市内在住)の表彰、各色1番のナンバープレートの交付があり、当日18台がトマト形のナンバープレートの交付を受けました。

通常のナンバープレートからの交換も可能です。税務課9番窓口で交付していますので、ぜひご当地ナンバーをつけて、北本市の魅力をPRしてください！



かわいいトマト形！



わくわく♪



車種によりカラーは色々！



七福神めぐりで運氣アップ!

1月13日、穏やかな晴天のなか、高尾氷川神社(恵比寿・大黒天)や荒井の須賀神社(寿老人)などの各所で、新春北本七福神めぐりが行われ、市内外から約1,100人が来場し大きく賑わいました。各所では手作りの甘酒やお汁粉、饅頭など心のこもった「おもてなし」も振る舞われ、寒さでかじかんだ手を温めてくれたようです。また須賀神社では、名物となっている全長2.15メートルの日本一大きな「おみくじ」も登場し、参加者を楽しませていました。



文化財を守れ!宮内氷川神社で防災訓練

1月26日の「文化財防火デー」に合わせて、宮内4丁目の氷川神社において防災訓練が行われました。神社の旧社殿付近から出火したという想定のもと、地区の皆さんによる文化財の持ち出し訓練や、北本消防署と地元消防団による放水訓練等を行いました。降雪の影響もあり、厳しい寒さの中での実施でしたが、文化財を守る重要な取り組みとなりました。



8mのなが〜い巻寿司作りに挑戦!

2月3日、節分の日にちなみ、東地域コミュニティ委員会で、地域の子どもや大人50人が全長8mの長巻寿司作りに挑戦しました。ロール状の長い海苔の上に酢飯と具材をのせ、なんとすだれを使って一斉に巻きました。出来上がった長巻寿司を食べやすく切り分け、「南南東に向かって、無言で食べるのではなく笑いながら食べましょう!」という掛け声とともに、参加者たちは恵方に向かって笑顔でおぼっていました。来年は10mに挑戦して地域をもっと盛り上げたいと会長さんは笑顔で話していました。

蒲ザクラと範頼伝説

市民リポーターの大嶋佐知です。
「市の木」が桜、という北本市の中でも特に有名なのが、天然記念物石戸蒲ザクラではないでしょうか。でもここでひとつの疑問が…蒲ザクラの「蒲」ってなに？

というわけで、蒲ザクラの名前の由来でもある、蒲冠者源範頼の生地といわれる蒲地区(浜松市)に行ってきました!

浜松最古の神社である蒲神明宮、蒲小学校、範頼ゆかりの寺院や公園には北本市から寄贈された蒲ザクラ後継樹がすくすくと成長していました。石戸蒲ザクラ後継樹は「蒲地区のシンボル花」に定められているそうですよ。

ところで、石戸蒲ザクラには「範頼が落ちのびるときに杖をさしたら根付いた」という言い伝えがあるそうです。おもしろいことに、鈴鹿市石薬師の「蒲桜」にも範頼が馬のむちにしていた桜の枝をさしたという伝説があると蒲神明宮の縁起に書かれていました。

それならば、とさらに足を延ばして三重県鈴鹿市まで行くことに! 蒲ザクラ・範頼リポの続きは市ホームページの市民リポーター掲載記事にて!!

詳しくは市ホームページへ

市民リポーター

検索



北本市石戸蒲ザクラ



静岡県浜松市 蒲神明宮

突撃!
市民リポーター



リポーター
大嶋 佐知さん

平成30年度市民・市外リポーター募集中! 詳しくは10ページへ。